

## 第87回 簿記実務検定第1級試験問題

原価計算

(制限時間 1時間30分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

当座預金 売掛金 製品 A組製品  
 B組製品 仕損品 素材 所得税預り金  
 健康保険料預り金 売上 売上原価 賃金  
 健康保険料 特許権使用料 減価償却費 仕損費  
 製造 第1工程製造 第2工程製造 材料消費価格差異  
 本 社 工 場

- a. 単純総合原価計算を採用している茨城工業株式会社は、月末に当月分の特許権使用料 ¥270,000 および工場の建物に対する減価償却費 ¥190,000 を消費高として計上した。
- b. 栃木工業株式会社は、会計期末にあたり、材料消費価格差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。なお、材料消費価格差異勘定の前月繰越高は ¥9,000 (貸方) であり、当月の素材の実際消費高は予定消費高より ¥8,000 少なく、この額は材料消費価格差異勘定に振り替えられている。
- c. 工程別総合原価計算を採用している群馬製作所は、月末に工程別総合原価計算表を次のとおり作成し、各工程の完成品原価を計上した。なお、第1工程の完成品はすべて第2工程（最終工程）に引き渡している。

工程別総合原価計算表 (一部)

平成○年/月分

| 摘 要       | 第1工程      | 第2工程      |
|-----------|-----------|-----------|
| 工程個別費 素材費 | 1,240,000 | —         |
| 前工程費      | —         | 3,480,000 |
| 工程完成品原価   | 3,480,000 | 4,700,000 |
| 工程完成品数量   | 2,400個    | 2,000個    |
| 工 程 単 価   | ¥ 1,450   | ¥ 2,350   |

- d. 個別原価計算を採用している埼玉製作所における/月分の製品の販売に関する資料は、次のとおりであった。よって、売上高および売上原価を計上した。

|          | A製品 (製造指図書#/1) | B製品 (製造指図書#/2) |
|----------|----------------|----------------|
| 売上高 (掛け) | ¥763,000       | ¥628,000       |
| 製造原価     | ¥452,000       | ¥391,000       |

- e. 工場会計が独立している東京工業株式会社の工場は、本社から工場の従業員に対する本月分の賃金 ¥2,120,000 を小切手を振り出して支払ったとの報告を受けた。ただし、この支払額は、所得税額 ¥174,000 と健康保険料 ¥86,000 が差し引かれており、これらの預り金に関する勘定は本社のみ に設けてある。(工場の仕訳)
- f. 個別原価計算を採用している愛媛製作所では、製造指図書#5の製品が仕損じとなった。よって、補修指図書#5-/を発行して補修をおこない、補修のために消費した素材 ¥25,000 および賃金 ¥78,000 を仕損費勘定に計上した。

2

神奈川製作所は、組別総合原価計算を採用し、A組製品とB組製品を製造している。下記の資料によって、

- (1) 組間接費をA組とB組に配賦する仕訳を示しなさい。
- (2) 組別総合原価計算表を完成しなさい。
- (3) A組製造勘定を完成しなさい。

ただし、i 組間接費は直接労務費を基準として配賦しており、組間接費勘定を設けて記帳している。

ii 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。

iii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。

#### 資 料

##### a. 生産データ

|       | A 組             | B 組               |
|-------|-----------------|-------------------|
| 月初仕掛品 | 600個 (加工進捗度50%) | 1,000個 (加工進捗度60%) |
| 当月投入  | 2,850個          | 3,800個            |
| 合計    | 3,450個          | 4,800個            |
| 月末仕掛品 | 450個 (加工進捗度40%) | 800個 (加工進捗度50%)   |
| 完成品   | 3,000個          | 4,000個            |

##### b. 月初仕掛品原価

|     | A 組       | B 組       |
|-----|-----------|-----------|
| 素材費 | ¥ 450,000 | ¥ 710,000 |
| 加工費 | ¥ 372,000 | ¥ 489,000 |

##### c. 当月製造費用

|     | A組直接費       | B組直接費       | 組間接費        |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 素材費 | ¥ 2,172,000 | ¥ 2,746,000 | ¥ 524,000   |
| 労務費 | ¥ 1,925,000 | ¥ 1,575,000 | ¥ 1,645,000 |
| 経費  | ¥ 138,000   | ¥ 284,000   | ¥ 631,000   |

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 徳島製作所における下記の貸借対照表（一部）と資料により、製造原価報告書に記載する次の金額を求めなさい。

a. 当期材料費      b. 当期労務費      c. 当期製品製造原価

#### 貸 借 対 照 表 (一部)

平成〇年/2月31日

|     |         |      |         |
|-----|---------|------|---------|
| 副産物 | 251,000 | 未払賃金 | 265,000 |
| 材料  | 356,000 |      |         |
| 仕掛品 | 671,000 |      |         |

#### 資 料

|                                    |       |                        |       |                        |
|------------------------------------|-------|------------------------|-------|------------------------|
| ① 素材                               | 期首棚卸高 | ¥ 289,000              | 当期仕入高 | ¥ 1,762,000            |
|                                    | 期末棚卸高 | ¥ 302,000              |       |                        |
| ② 工場消耗品                            | 期首棚卸高 | ¥ 49,000               | 当期仕入高 | ¥ 386,000              |
|                                    | 期末棚卸高 | ¥ 54,000               |       |                        |
| ③ 賃金                               | 前期未払高 | ¥ 249,000              | 当期支払高 | ¥ 1,527,000            |
|                                    | 当期未払高 | ¥ <input type="text"/> |       |                        |
| ④ 従業員賞与手当                          | 当期消費高 | ¥ 215,000              |       |                        |
| ⑤ 退職給付費用                           | 当期消費高 | ¥ 68,000               |       |                        |
| ⑥ 外注加工賃                            | 前期未払高 | ¥ 18,000               | 当期支払高 | ¥ 213,000              |
|                                    | 当期前払高 | ¥ 24,000               |       |                        |
| ⑦ 電力料                              | 当期支払高 | ¥ 123,000              | 当期測定高 | ¥ 143,000              |
| ⑧ 減価償却費                            | 当期消費高 | ¥ 172,000              |       |                        |
| ⑨ 仕掛品                              | 期首棚卸高 | ¥ 578,000              | 期末棚卸高 | ¥ <input type="text"/> |
| ⑩ 当期中に副産物が発生し、その評価額は ¥251,000 である。 |       |                        |       |                        |

- (2) 香川製作所は、等級別総合原価計算を採用し、1級製品・2級製品・3級製品を製造している。下記の資料によって、次の金額を求めなさい。ただし、等価係数は、各製品の1個あたりの重量を基準としている。

a. 当月の1級製品の製造原価

b. 当月の3級製品の製品単価（単位原価）

資 料

- ① 月初仕掛品原価 ￥ 683,000  
 ② 当月製造費用 ￥7,268,000  
 ③ 月末仕掛品原価 ￥ 715,000  
 ④ 製品1個あたりの重量  
     1級製品 750g      2級製品 600g      3級製品 300g  
 ⑤ 当月完成品数量  
     1級製品 1,500個      2級製品 2,300個      3級製品 1,700個

- (3) 標準原価計算を採用している高知製作所の当月における下記の資料から、

- ① 次の金額を求めなさい。

a. 月末仕掛品の標準原価

b. 予算差異

ただし、i 直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

ii 解答欄の（ ）のなかに不利差異の場合は（不利）、有利差異の場合は（有利）と記入すること。

- ② 次の文の { } のなかから、いずれか適当なものを選び、その番号を記入しなさい。

直接労務費差異は賃率差異と作業時間差異に分けて分析することができる。このうち、作業時間差異は ￥50,000 の c { 1. 不利差異 2. 有利差異 } である。この差異は製造現場において管理 d { 3. できる 4. できない } 要因によって発生することが多い。

資 料

i 標準原価カード

| A製品 標準原価カード |              |        |        |
|-------------|--------------|--------|--------|
|             | 標準消費数量       | 標準単価   | 金額     |
| 直接材料費       | 4kg          | ￥ 400  | ￥1,600 |
|             | 標準直接作業時間     | 標準賃率   |        |
| 直接労務費       | 3時間          | ￥1,000 | ￥3,000 |
|             | 標準直接作業時間     | 標準配賦率  |        |
| 製造間接費       | 3時間          | ￥1,400 | ￥4,200 |
|             | 製品1個あたりの標準原価 |        | ￥8,800 |

ii 生産データ

|       |                |
|-------|----------------|
| 月初仕掛品 | 300個（加工進捗度50%） |
| 当月投入  | 700個           |
| 合計    | 1,000個         |
| 月末仕掛品 | 200個（加工進捗度50%） |
| 完成品   | 800個           |

iii 実際直接労務費

|          |         |
|----------|---------|
| 実際直接作業時間 | 2,300時間 |
| 実際賃率     | ￥1,030  |

iv 製造間接費実際発生額 ￥3,348,000

v 製造間接費予算（公式法変動予算）

|               |            |
|---------------|------------|
| 変動費率          | ￥600       |
| 固定費予算額        | ￥1,920,000 |
| 基準操業度（直接作業時間） | 2,400時間    |

- (4) 次の文の  のなかに、適当な金額または数量を記入しなさい。

関東工業株式会社はX製品を製造し、1個あたり ￥1,400 で販売している。短期利益計画のために、総原価を変動費と固定費に分け、直接原価計算による損益計算書を作成したところ、X製品を 3,000 個販売した場合の変動費は ￥3,255,000 固定費は ￥630,000 営業利益は ￥  a であった。この損益計算書をもとに計算した損益分岐点の売上高は ￥  b であり、目標営業利益 ￥378,000 を達成するための販売数量は  c 個であった。

4

個別原価計算を採用している四国工業株式会社（決算年/回 3月3/日）の下記の資料によって、

- (1) /月3/日⑨の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 製造勘定・製造間接費勘定・製造部門費配賦差異勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 部門費振替表を相互配賦法によって完成しなさい。
- (4) A製品（製造指図書#/）の原価計算表を作成しなさい。

ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。

素 材 250個 @¥1,820 ¥ 455,000  
工場消耗品 400〃 〃 80 ¥ 32,000  
仕 掛 品（製造指図書#/） ¥2,542,000（原価計算表に記入済み）

- ii 素材の消費高の計算は先入先出法、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高は、作業時間/時間につき ¥1,250 の予定賃率を用いて計算し、消費賃金勘定を設けて記帳している。
- iv 製造間接費は部門別計算をおこない、直接作業時間を配賦基準として予定配賦している。

|                   | 第1製造部門     | 第2製造部門     |
|-------------------|------------|------------|
| 年間製造間接費予定額（予算額）   | ¥7,590,000 | ¥5,760,000 |
| 年間予定直接作業時間（基準操業度） | 13,800時間   | 12,000時間   |

取 引

/月 6日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金は掛けとした。

素 材 900個 @¥1,800 ¥1,620,000  
工場消耗品 2,100〃 〃 80 ¥ 168,000

/3日 B製品（製造指図書#2）の注文を受け、素材580個を消費して製造を開始した。

25日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃 金 総 額 ¥2,640,000

うち、控除額 所 得 税 ¥281,000 健康保険料 ¥154,000

26日 A製品（製造指図書#/）50個が完成した。なお、A製品の賃金予定消費高と製造部門費予定配賦高を、次の作業時間によって計算し、原価計算表に記入した。ただし、賃金予定消費高と製造部門費予定配賦高を計上する仕訳は、月末におこなっている。

製造指図書#/ 1,180時間（第1製造部門380時間 第2製造部門800時間）

3/日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は250個であった。よって、消費高を計上した。（間接材料）

② 当月の作業時間は、次のとおりであった。よって、当月の賃金予定消費高を計上した。

|        |         | 合計      | 内訳 | 第1製造部門 | 第2製造部門 |
|--------|---------|---------|----|--------|--------|
| 直接作業時間 | 製造指図書#/ | 1,180時間 |    | 380時間  | 800時間  |
|        | 製造指図書#2 | 920時間   |    | 720時間  | 200時間  |
| 間接作業時間 |         | 200時間   |    |        |        |

③ 上記②の直接作業時間によって、製造部門費を予定配賦した。

④ 健康保険料の事業主負担分 ¥154,000 を計上した。

⑤ 当月の製造経費消費高を計上した。

電 力 料 ¥137,000 保 険 料 ¥98,000 減価償却費 ¥274,000

⑥ 製造間接費を次のように各部門に配分した。

第1製造部門 ¥420,000 第2製造部門 ¥340,000

動 力 部 門 186,000 修 繕 部 門 147,000

⑦ 補助部門費を次の配賦基準によって各製造部門に配賦した。

|       | 配賦基準      | 第1製造部門     | 第2製造部門     | 動力部門 | 修繕部門       |
|-------|-----------|------------|------------|------|------------|
| 動力部門費 | kW数×運転時間数 | 16kW×400時間 | 15kW×320時間 | ———  | 12kW×100時間 |
| 修繕部門費 | 修 繕 回 数   | 20回        | 16回        | 6回   | ———        |

⑧ 当月の賃金実際消費高 ¥2,852,000 を計上した。

⑨ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。

⑩ 第1製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

⑪ 第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

第87回 簿記実務検定 1級 原価計算 [答案用紙]

| 1 | 借 方 | 貸 方 |
|---|-----|-----|
| a |     |     |
| b |     |     |
| c |     |     |
| d |     |     |
| e |     |     |
| f |     |     |

|         |         |         |         |     |
|---------|---------|---------|---------|-----|
| 1<br>得点 | 2<br>得点 | 3<br>得点 | 4<br>得点 | 総得点 |
|---------|---------|---------|---------|-----|

| 試 験 場 校 | 受 験 番 号 |
|---------|---------|
|         |         |

2

| (1) | 借 方 | 貸 方 |
|-----|-----|-----|
|     |     |     |

(2) 組別総合原価計算表  
平成○年/月分

| 摘 要         | A 組     | B 組     |
|-------------|---------|---------|
| 組 直 接 費 素材費 |         |         |
| 加工費         |         |         |
| 組 間 接 費 加工費 |         |         |
| 当 月 製 造 費 用 |         |         |
| 月初仕掛品原価 素材費 | 450,000 | 710,000 |
| 加工費         | 372,000 | 489,000 |
| 計           |         |         |
| 月末仕掛品原価 素材費 | 342,000 |         |
| 加工費         |         | 328,000 |
| 完 成 品 原 価   |         |         |
| 完 成 品 数 量   | 個       | 個       |
| 製 品 単 価     | ¥       | ¥       |

(3) A 組 製 造

|         |           |             |
|---------|-----------|-------------|
| 前 月 繰 越 | 822,000   | ( ) ( )     |
| 素 材     | 2,172,000 | 次 月 繰 越 ( ) |
| 労 務 費   | 1,925,000 |             |
| 経 費     | 138,000   |             |
| ( ) ( ) |           |             |
| ( )     |           | ( )         |

2

得点

3

(1)

|   |                   |
|---|-------------------|
| a | 当 期 材 料 費 ￥       |
| b | 当 期 労 務 費 ￥       |
| c | 当 期 製 品 製 造 原 価 ￥ |

(2)

|   |                          |
|---|--------------------------|
| a | 当月の1級製品の製造原価 ￥           |
| b | 当月の2級製品の製品単価<br>(単位原価) ￥ |

(3)

①

|   |               |
|---|---------------|
| a | 月末仕掛品の標準原価 ￥  |
| b | 予 算 差 異 ￥ ( ) |

②

|   |   |
|---|---|
| c | d |
|   |   |

(4)

|   |   |
|---|---|
| a | ￥ |
| b | ￥ |
| c | 個 |

3

得点

|   |     |        |     |     |
|---|-----|--------|-----|-----|
| 4 | (1) |        | 借 方 | 貸 方 |
|   |     | /月3/日⑨ |     |     |

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| (2)               | 製 造       |
| 1/1 前 月 繰 越       | 2,542,000 |
| 製 造 間 接 費         |           |
| 製 造 部 門 費 配 賦 差 異 |           |
| 1/1 前 月 繰 越       | 6,000     |

(3) 部 門 費 振 替 表  
相互配賦法  
平成○年/月分

| 部 門 費   | 配 賦 基 準   | 金 額 | 製 造 部 門 |         | 補 助 部 門 |         |
|---------|-----------|-----|---------|---------|---------|---------|
|         |           |     | 第 1 部 門 | 第 2 部 門 | 動 力 部 門 | 修 繕 部 門 |
| 部門費合計   |           |     |         |         |         |         |
| 動力部門費   | kW数×運転時間数 |     |         |         | —       |         |
| 修繕部門費   | 修 繕 回 数   |     |         |         |         | —       |
| 第1次配賦額  |           |     |         |         |         |         |
| 動力部門費   | kW数×運転時間数 |     |         |         |         |         |
| 修繕部門費   | 修 繕 回 数   |     |         |         |         |         |
| 第2次配賦額  |           |     |         |         |         |         |
| 製造部門費合計 |           |     |         |         |         |         |

(4) 製造指図書 # / 原 価 計 算 表

| 直接材料費     | 直接労務費   | 製 造 間 接 費 |     |       |         | 集 計   |     |
|-----------|---------|-----------|-----|-------|---------|-------|-----|
|           |         | 部 門       | 時 間 | 配 賦 率 | 金 額     | 摘 要   | 金 額 |
| 2,002,000 | 375,000 | 第 1       | 300 | 5.50  | 165,000 | 直接材料費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 直接労務費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 製造間接費 |     |
|           |         |           |     |       |         | 製造原価  |     |
|           |         |           |     |       |         | 完成品数量 | 個   |
|           |         |           |     |       |         | 製品単価  | ¥   |

|   |    |
|---|----|
| 4 | 得点 |
|---|----|



第87回 簿記実務検定 1級 原価計算 [ 解答 ]

| 1 | 借 方              |                        | 貸 方                        |                        |
|---|------------------|------------------------|----------------------------|------------------------|
|   |                  |                        |                            |                        |
| a | 製 造              | 460,000                | 特許権使用料<br>減価償却費            | 270,000<br>190,000     |
| b | 材料消費価格差異         | 17,000                 | 売 上 原 価                    | 17,000                 |
| c | 第 2 工 程 製 造 品    | 3,480,000<br>4,700,000 | 第 1 工 程 製 造<br>第 2 工 程 製 造 | 3,480,000<br>4,700,000 |
| d | 売 掛 金<br>売 上 原 価 | 1,391,000<br>843,000   | 売 上 品 製                    | 1,391,000<br>843,000   |
| e | 賃 金              | 2,380,000              | 本 社                        | 2,380,000              |
| f | 仕 損 費            | 103,000                | 素 質 材 金                    | 25,000<br>78,000       |

2

| (1)     | 借 方 |           | 貸 方     |           |
|---------|-----|-----------|---------|-----------|
|         |     |           |         |           |
| A 組 製 造 |     | 1,540,000 | 組 間 接 費 | 2,800,000 |
| B 組 製 造 |     | 1,260,000 |         |           |

(2) 組別総合原価計算表

| 平成〇年/月分     |     |           |           |  |
|-------------|-----|-----------|-----------|--|
| 摘 要         |     | A 組       | B 組       |  |
| 組 直 接 費     | 素材費 | 2,172,000 | 2,746,000 |  |
|             | 加工費 | 2,063,000 | 1,859,000 |  |
| 組 間 接 費     | 加工費 | 1,540,000 | 1,260,000 |  |
| 当 月 製 造 費 用 |     | 5,775,000 | 5,865,000 |  |
| 月初仕掛品原価     | 素材費 | 450,000   | 710,000   |  |
|             | 加工費 | 372,000   | 489,000   |  |
| 計           |     | 6,597,000 | 7,064,000 |  |
| 月末仕掛品原価     | 素材費 | 342,000   | 576,000   |  |
|             | 加工費 | 225,000   | 328,000   |  |
| 完 成 品 原 価   |     | 6,030,000 | 6,160,000 |  |
| 完 成 品 数 量   |     | 3,000個    | 4,000個    |  |
| 製 品 単 価     |     | 2,010     | 1,540     |  |

(3)

| A 組 製 造                 |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 前 月 繰 越                 | 822,000 (A 組 製 品) ( 6,030,000 ) |
| 素 材                     | 2,172,000 次 月 繰 越 ( 567,000 )   |
| 労 務 費                   | 1,925,000                       |
| 経 費                     | 138,000                         |
| (組 間 接 費) ( 1,540,000 ) |                                 |
| ( 6,597,000 )           | ( 6,597,000 )                   |

3

|     |   |          |             |
|-----|---|----------|-------------|
| (1) | a | 当期材料費    | ¥ 2,130,000 |
|     | b | 当期劳务費    | ¥ 1,826,000 |
|     | c | 当期製品製造原価 | ¥ 4,098,000 |

(2)

|   |                        |             |
|---|------------------------|-------------|
| a | 当月の/級製品の製造原価           | ¥ 2,700,000 |
| b | 当月の3級製品の製品単価<br>(単位原価) | ¥ 720       |

(3)

|   |   |            |               |
|---|---|------------|---------------|
| ① | a | 月末仕掛品の標準原価 | ¥ 1,040,000   |
|   | b | 予算差異       | ¥ 48,000 (不利) |

②

|   |   |
|---|---|
| c | d |
| 1 | 3 |

(4)

|   |             |
|---|-------------|
| a | ¥ 315,000   |
| b | ¥ 2,800,000 |
| c | 3,200 個     |

4

(1)

|        | 借方          | 貸方          |
|--------|-------------|-------------|
| /月3/日⑤ | 消費賃金 23,000 | 貸率差異 23,000 |

(2)

| 製造    |           |        |           |
|-------|-----------|--------|-----------|
| 1/1 前 | 繰越        | 1/26 製 | 品         |
| 13 素  | 2,542,000 | 31 次   | 繰越        |
| 31 消費 | 1,049,000 |        |           |
| 諸     | 2,625,000 |        |           |
|       | 1,085,000 |        |           |
|       | 7,301,000 |        |           |
|       |           |        | 7,301,000 |

| 製造間接費   |           |        |           |
|---------|-----------|--------|-----------|
| 1/31 工場 | 消耗品       | 1/31 諸 | 口         |
| 消費賃金    | 250,000   |        |           |
| 健康保險料   | 154,000   |        |           |
| 諸       | 509,000   |        |           |
|         | 1,093,000 |        |           |
|         |           |        | 1,093,000 |

製造部門費配賦差異

|              |       |       |    |       |
|--------------|-------|-------|----|-------|
| 1/31 第1製造部門費 | 3,000 | 1/1 前 | 繰越 | 6,000 |
| 第2製造部門費      | 5,000 | 31 次  | 繰越 | 2,000 |
|              | 8,000 |       |    | 8,000 |

(3)

相互配賦法  
平成○年/月分  
部門費振替表

| 部門費     | 配賦基準    | 金額        | 製造部門<br>第/部門 | 第2部門    | 補助部門<br>動力部門 | 修繕部門    |
|---------|---------|-----------|--------------|---------|--------------|---------|
| 部門費合計   |         | 1,093,000 | 420,000      | 340,000 | 186,000      | 147,000 |
| 動力部門費   | 186,000 | 96,000    | 72,000       | 72,000  | —            | 18,000  |
| 修繕部門費   | 147,000 | 70,000    | 56,000       | 56,000  | 21,000       | —       |
| 第/次配賦額  | 333,000 | 166,000   | 128,000      | 128,000 | 21,000       | 18,000  |
| 動力部門費   | 21,000  | 12,000    | 9,000        | 9,000   |              |         |
| 修繕部門費   | 18,000  | 10,000    | 8,000        | 8,000   |              |         |
| 第2次配賦額  | 39,000  | 22,000    | 17,000       | 17,000  |              |         |
| 製造部門費合計 |         | 1,093,000 | 608,000      | 485,000 |              |         |

(4)

製造指図書# / 原価計算表

| 直接材料費     | 直接労務費     | 製造間接費   | 集計        |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 2,002,000 | 375,000   | 165,000 | 2,002,000 |
|           | 1,475,000 | 209,000 | 1,850,000 |
|           | 1,850,000 | 384,000 | 758,000   |
|           |           | 758,000 | 4,610,000 |
|           |           |         | 50 個      |
|           |           |         | 製品単価      |
|           |           |         | ¥ 92,200  |